

戸部哲哉町長(左)に寄付の目録を手渡す安藤陽一
社長(中央)＝北方町役場



小中一貫校に使って

アルテック 北方町に10万円
大垣西濃信金

住宅設備関連会社アルテック(北方町曲路)と大垣西濃信用金庫は22日、北方町が2023年度に開校を目指す小中一貫の義務教育学校2校の設立準備に役立ててもらおうと、町

に10万円を寄付した。企業が発行した私募債の手数料で、学校などに金品を贈る同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用。同社の安藤陽一社長(51)が義務教育学校の「北方学園構想」に賛同し、寄付を決めた。

安藤社長と同金庫北方支店の清水洋一支店長が町役場を訪れ、戸部哲哉町長に目録を手渡した。安藤社長は「学校が地域から愛され、コミュニティの核となることが大切で、学園構想をいいものにしてほしい」と述べた。

(松浦健司)